

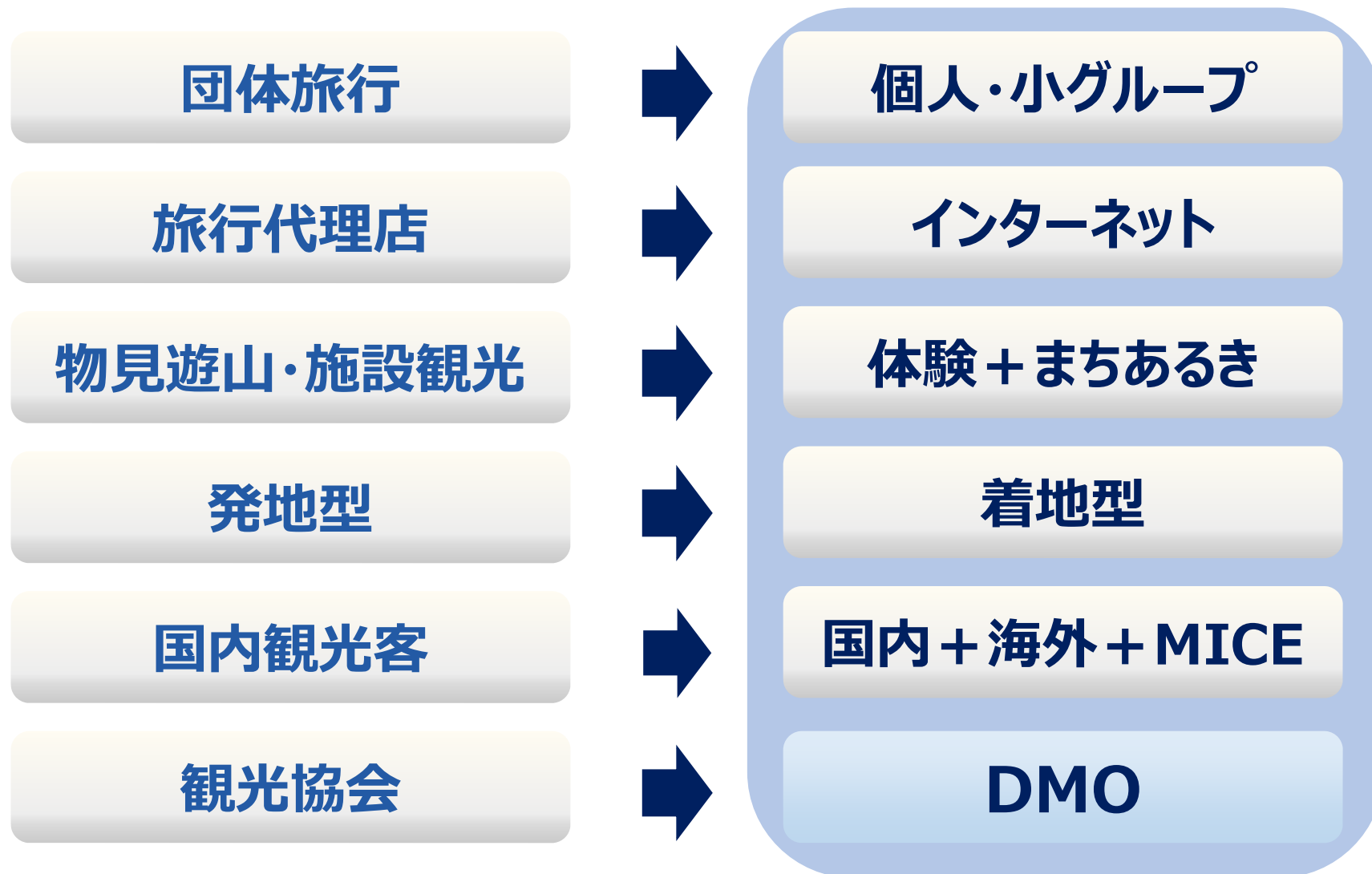
観光立国ショーケースの形成推進 長崎市の取組み



平成30年4月17日
長崎市

1 長崎市が目指す観光地像

昭和の観光都市から21世紀の交流都市へ



2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

■ 「価値の創造(資源磨き)」の取組み

- ▶ 夜景観光の推進
- ▶ 世界遺産登録
- ▶ 出島の復元
- ▶ 唐人屋敷の顕在化 など



■ 域外からの大型投資が増加

地元企業では難しい大型投資を呼び込む
投資に値するまちづくり

【紹介事例】

- ▶ 南山手地区 洋館活用
- ▶ 伊王島 体験型マルチメディア・ナイトウォーク
- ▶ 三菱重工業幸町工場跡地の有効活用

■ 地元企業による投資や外貨獲得のための動きが活発化

域外からの大型投資と連携する地元企業による
投資促進と外貨獲得

【紹介事例】

- ▶ 端島(軍艦島)の活用
- ▶ まちぶらプロジェクトの推進
- ▶ 長崎駅隣接地 交流拠点施設の整備検討

■ 市民、事業者、来訪者がWIN-WINの関係を築くまちづくり

来訪者がまちの中に入っていき、滞在を楽しむ
ことで、域内でお金が回るしくみづくり



2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果



- ・投資企業
森トラスト株式会社（本社：東京都港区）

- ・建物概要
築年：1898年
長崎港を臨む南山手地区の南端に位置し、国選定重要伝統的建造物群保存地区の伝統的建造物に特定されている。

- ・活用
インターナショナルラグジュアリーホテルとして開業を目指す。
（森トラストとして初の九州での事業展開）

■ 明治期の洋館「マリア園」の活用 ラグジュアリーホテルとして開業予定



2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

■ 伊王島 ISLAND LUMINA

体験型マルチメディア・ナイトウォーク日本初上陸



- ・投資企業
カトープレジャーグループ（本社：東京都千代田区）
- ・概要
平成30年4月1日、宿泊施設「やすらぎ伊王島」の「i+Land nagasaki」へのリニューアルオープンに合わせ、カナダのデジタルアート集団「MOMENT FACTORY」による体験マルチメディア・ナイトウォーク「LUMINA」シリーズが、全世界で6カ所目として、日本に初上陸した。



2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

■ 軍艦島の活用(平成21年 上陸開始)



【上陸の効果】


- ・ 訪問者 0人→年間約30万人
- ・ 船会社5社が新規参入
- ・ 船の大型化(新船導入)
- ・ 土産品の開発・販売
- ・ 新たな事業展開
- ・ 雇用の増

2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

まちぶらプロジェクトの推進

- 市はエリアの歴史的背景を重視・尊重し、個性を顕在化
- 地域活性化に資する民間のハード・ソフトの取組みを支援

**陸の玄関口
(長崎駅周辺)**

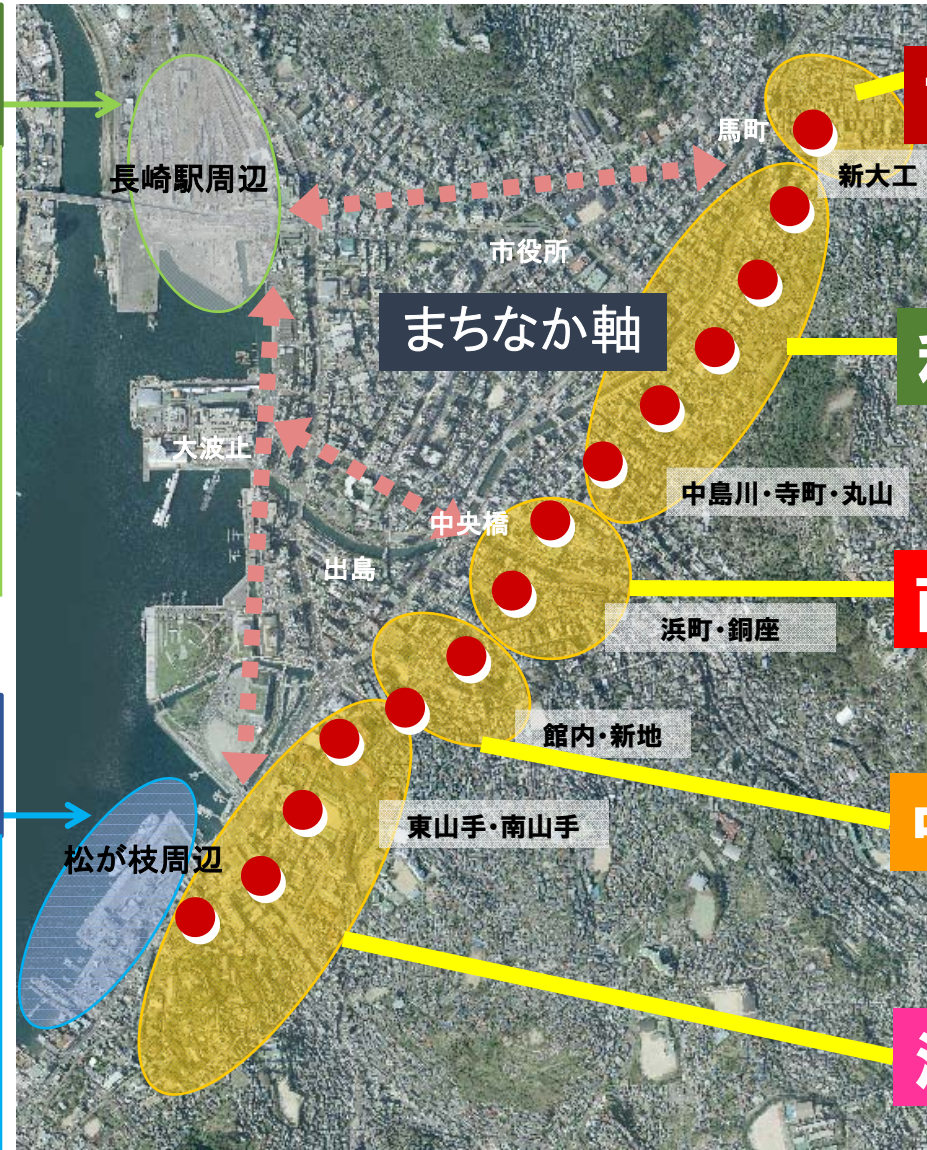


九州新幹線西九州ルート
JR長崎本線連続立体交差事業
長崎駅周辺区画整理事業

**海の玄関口
(松が枝周辺)**



複数バース化
(イメージ図)



市



和



商



中



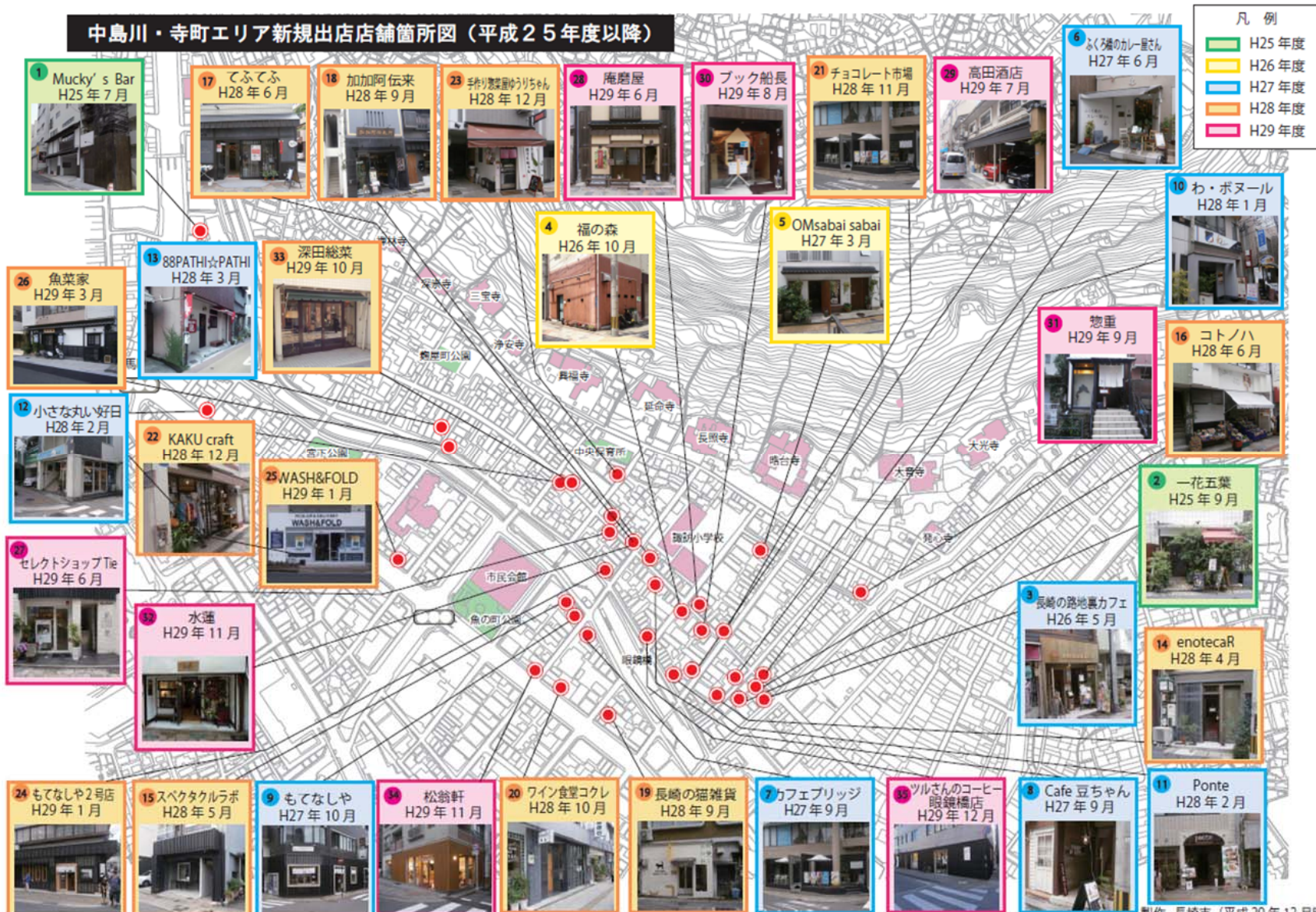
洋



2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

■ まちぶらプロジェクトの推進 ～新規出店～

中島川・寺町エリア新規出店店舗箇所図（平成25年度以降）



凡例

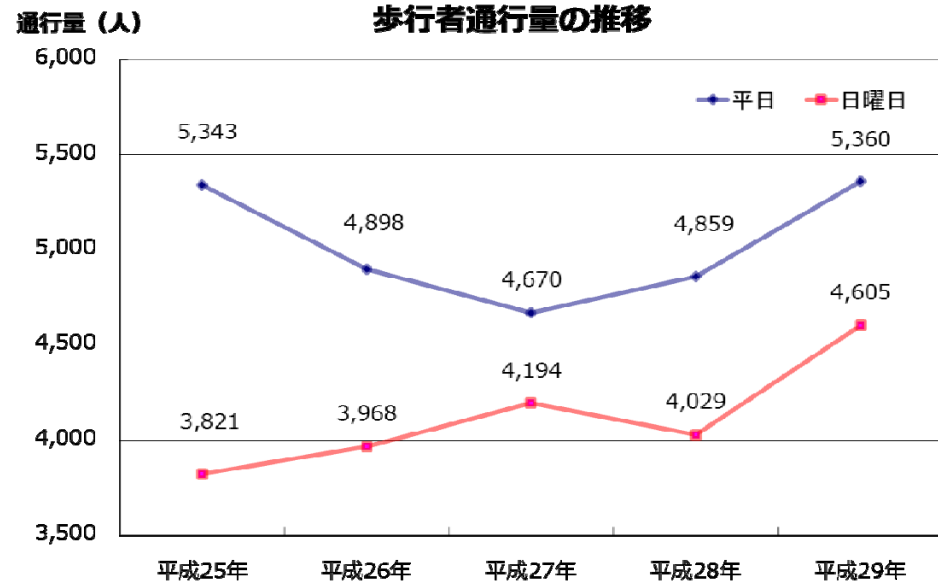
緑	H25年度
黄	H26年度
青	H27年度
橙	H28年度
粉	H29年度

出店数 35店舗
 2 店舗
 2 店舗
 9 店舗
 14 店舗
 8 店舗

製作 長崎市（平成29年12月時点）

2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

まちぶらプロジェクトの推進

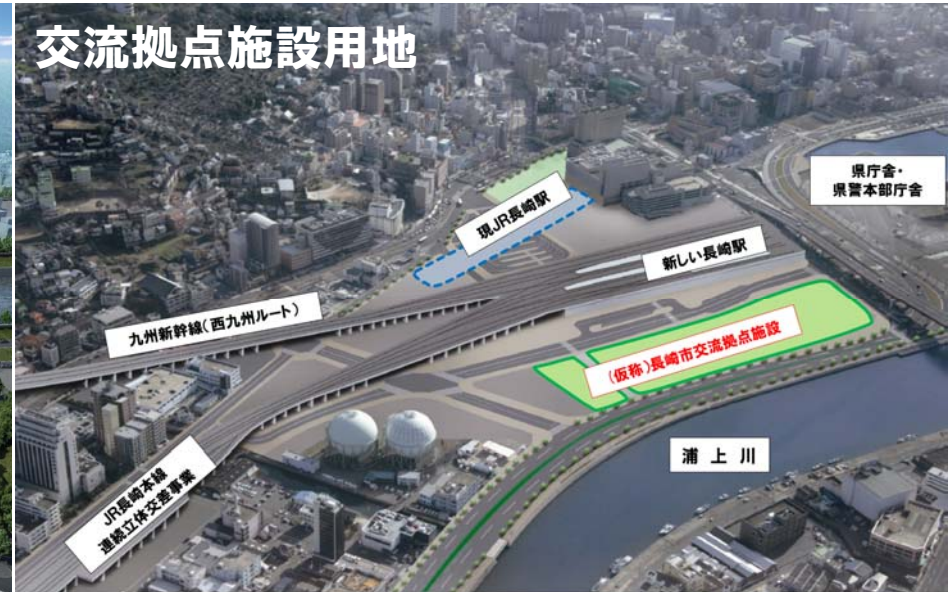


まちぶらプロジェクトに関する官民の事業

		ハード	ソフト
民間認定事業	補助あり	<ul style="list-style-type: none"> ・ 回遊路整備 ・ まちせなか拠点広場整備 ・ 公衆便所の整備 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板等の整備 ・ 地域内の交通規制の見直し ・ 魅力の情報発信 (マップ作成等) など
	補助なし	<ul style="list-style-type: none"> ・ 建替えに伴い建物後退による民有地での歩道整備 ・ まちぶら情報発信施設の設置 ・ まちぶら休憩所の設置 ・ まちぶらギャラリーの設置 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 長崎キッズハロウィンパーティ事業 ・ おもてなし活動 ・ まちゼミナール ・ 企業によるスタッフ派遣事業 ・ 音楽を通じたまちづくり ・ 「女子目線でのまちなか再発見」ちいさなごほうび など
市事業		<ul style="list-style-type: none"> ・ 回遊路整備 ・ まちせなか拠点広場整備 ・ 公衆便所の整備 など	<ul style="list-style-type: none"> ・ 案内板等の整備 ・ 地域内の交通規制の見直し ・ 魅力の情報発信 (マップ作成等) など

2 長崎市の取組みが地元経済にもたらす効果

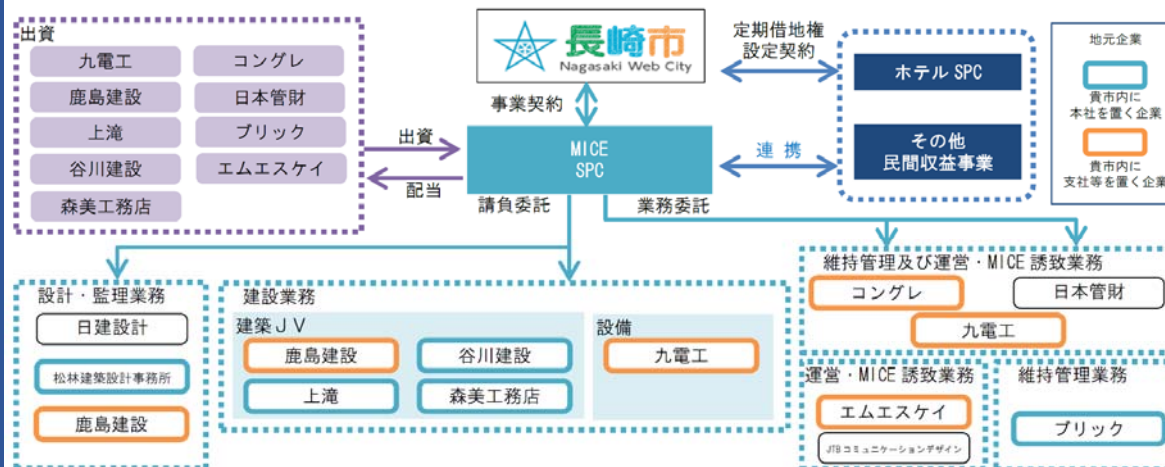
■ 国内外からの集客を見込める交流拠点施設の整備検討



■ 地元経済界の取組み

- ▶ 長崎MICE誘致推進協議会
(平成26年8月設立)
官民挙げてのMICE誘致・受入体制の整備推進
- ▶ 長崎MICE事業者ネットワーク
(平成28年11月設立)
MICE関連業務の地元事業者による受注拡大
- ▶ (一社)長崎都市経営戦略支援協会
(平成29年12月設立)
MICEの誘致等に年1,000万円程度を助成

事業者選定時
事業実施体制



3 地域の側から民間投資を促進するために必要だと考える方策

行政の参画

投資案件に対し、行政が積極的に関わり、側面からの支援を行うことで、民間が安心して投資できる環境を醸成。

金融機関の参画

地元金融機関は、民間投資を促すコンサルタント的な役割を担当。

◎ まちぶらプロジェクトとの連携事例

長崎市の事業認定を受けた事業者に対する優遇措置

- ① 金利
 - ▶ 新規開業・・・所定利率から0.4%優遇
 - ▶ 町家修繕・・・所定利率から0.5%優遇
- ② 担保 原則不要
- ③ 保証人 原則不要

リーディング企業の存在

企業規模に関わらず、先行事例をつくり、地域を牽引する企業の存在。

次時代の長崎へ
個性輝く 世界都市

希望あふれる 人間都市

まちぶらプロジェクト

長崎市のまちなかは、歴史的文化や伝統を数多く残し、緑や自然環境が集中した古くからの市街地です。自転のまちを今後も個性ある都市として輝かせるため、長崎市では「まちぶらプロジェクト」として、市民の協働や事業者の方々等と一緒に今後10年間でまちなかの賑わいづくりを進めます。

当行は、長崎市「まちぶらプロジェクト」に取り組んでいます。

長崎市の「まちぶらプロジェクト」の事業認定を受けた方に対し、下記融資制度の金利を優遇いたします。

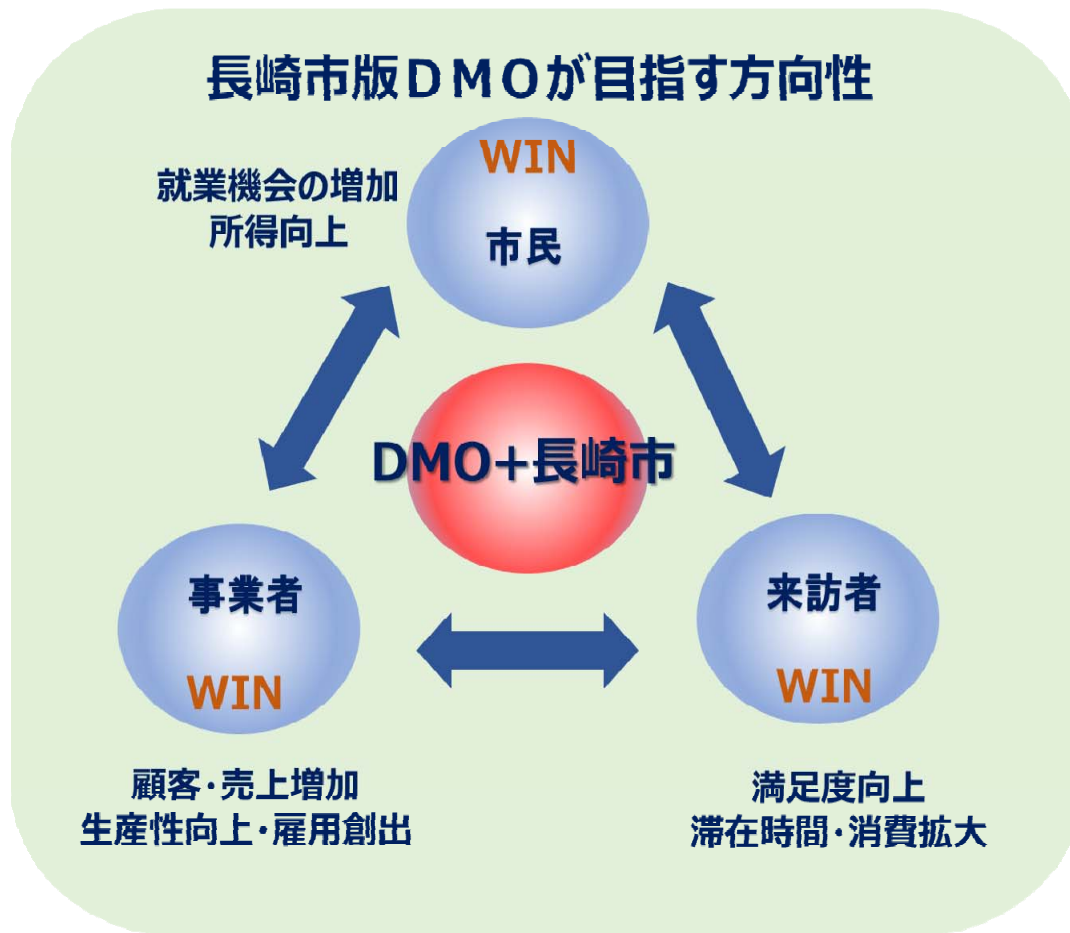
ご利用になれる方

- ① 「(18) チャレンジローン」…新規開業をご計画される方等
- ② 「(18) リフォームプラン」…町家の修繕等をご計画される方等

18Bank 十八銀行

3 地域の側から民間投資を促進するために必要だと考える方策

■ DMOによる舵取りと市民意識の変化



DMOによる舵取り

長崎国際観光コンベンション協会との違い

- ① 観光関連事業者に加え、多様な関係者との連携・合意形成
- ② 「経験・勘・思い込み」から、科学的データ等の収集・分析への転換
- ③ 民間的手法（マーケティング・マネジメント機能）の導入
- ④ 戦略に基づく一元的な情報発信・プロモーション
- ⑤ 地域のサービスについて、評価する仕組みの構築

市民意識の変化

- ◎ シビックプライドの向上
- ◎ おもてなしの意識醸成
- ◎ 観光まちづくりへの参画